

湘南地区 防災まちづくりワークショップニュース

2

～柳島自治会館にて、防災まちづくりワークショップが実施されました～



防災まちづくりワークショップとは…

災害に強いまちづくりを進めていく上で重要なことは、市民と行政等が、それぞれの役割を担い、継続的に取組を進めていくことです。今回は湘南地区をモデル地区とし、市民と行政が共に協力して、地域から何ができるのかということを中心とした4回のワークショップ形式で話し合っていきます。第2回の平成25年12月8日（日）では、住民や中島中学校生徒会の皆様など30名の方にご参加いただきました。

第2回のワークショップは、「まちあるきで資源と課題を見つける」ことを中心に行われました。まず、災害の危険性について共有認識を持つための映像を全員で見た後、各班に分かれ、湘南地区の南部、柳島周辺のまちあるきを行いました。まちあるきの結果を各班で話し合い、模造紙にまとめました。最後には、東京大学 加藤先生より今回のまとめのご講評をいただきました。

ワークショップ参加者

（住民）湘南地区住民の皆様 中島中学校生徒会

（有識者）東京大学 生産技術研究所 加藤孝明准教授 小田切利栄特任研究員

（茅ヶ崎市役所職員）

1

当日の様子（災害の危険性について知ろう！）



＜ワークショップで行うこと＞

第1回（平成25年11月24日）
防災まちづくりについて知る

第2回（平成25年12月8日）
まちあるきで資源と課題を見つける

第3回（平成26年1月19日）
防災まちづくりマップを作る
未来の柳島について考える

第4回（平成26年2月23日）
地域で取り組みたいことを考える

■12月8日のワークショップで行われたこと■

災害の危険性について知ろう！	説明：茅ヶ崎市 都市政策課
まちあるきをしてみよう！	（各班でのまちあるき）
地域の特徴と防災上の課題を話し合ってみよう！	（各班での話し合い）
第2回のまとめ	東京大学 加藤准教授

発 行：茅ヶ崎市 都市部 都市政策課

発行日：平成25年12月

T E L 0467-82-1111（内線：2504）

F A X 0467-57-8377

災害の危険性について知ろう！

災害の危険性について、参加者で共有認識を持つため、“地震の揺れ”、“地震による火災”、“液状化”に関する下記のような映像をご覧いただきました。

ご紹介した映像は、インターネット上で一般に公表されているものであるため、地域や学校で防災について考える際にも、皆様でこのような映像をご覧いただくことができます。災害に対するイメージの共有のため、ご活用いただければと思います。

災害の危険性	映像	映像作成者及び出典・掲載元
地震の揺れ	・東日本大震災時の木造住宅の揺れ	平成 23 年 3 月 11 日 東北地方太平洋沖地震 「福島県いわき市」の古い木造住宅の揺れ(youtube)
	・木造建物倒壊の様子	独立行政法人 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター 加震実験映像 http://www.bosai.go.jp/hyogo/research/movie/movie.html
	・鉄筋コンクリート造3階建ての揺れ	独立行政法人 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター 加震実験映像 http://www.bosai.go.jp/hyogo/research/movie/movie.html
	・建物内の揺れ	総務省消防庁 チャレンジ！防災 48 http://open.fdma.go.jp/e-college/bosai/index.html
地震による火災	・阪神大震災時の火災の様子	1995 年(平成 7 年)1 月 17 日 兵庫県南部地震 火災の様子 (youtube)
	・住宅の燃える様子	総務省消防庁 チャレンジ！防災 48 http://open.fdma.go.jp/e-college/bosai/index.html
	・木造3階建(準耐火)の建物が燃える様子	プロジェクト研究「木造3階建て学校の火災安全性に関する研究」 http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/kasai/h23/top.htm
液状化	・液状化 模型実験	石垣島気象台 (youtube) http://www.youtube.com/watch?v=0o0spJojV9g

2



建物倒壊の危険性（木造建物）

作成者：独立行政法人防災科学技術研究所

出典：独立行政法人 防災科学技術研究所
兵庫耐震工学研究センター 加震実験映像
<http://www.bosai.go.jp/hyogo/research/movie/movie.html>

内容：兵庫県明石市に建つ築30年の木造軸組構法2階建て住宅を移築。
1棟には、筋かいを増設する等の耐震補強を行い、阪神大震災と同じ揺れを実験にて再現している。



8

阪神大震災の火災の様子



1995年(平成7年)1月17日 兵庫県南部地震
火災の様子

18

液状化の防災実験映像



25

まちあるきをしてみよう！

湘南地区の南側、柳島周辺を下記のような班別に分かれ、まちあるきを行いました。



3班 防災拠点となる浜見平団地の様子



4班 私有地の通り抜け避難路の確認



5班 中学生のまちあるきの様子

3

地域の特徴と課題を話し合ってみよう！

まちあるきで各自が見つけたこと、気になったことを話し合い、模造紙の地図の上に出していきました。



1班



話し合いの様子

2班

ワークショップのご感想 結果

第2回ワークショップの際に、ご記入いただきましたご感想結果の一部をご紹介します。貴重なご意見をありがとうございました。（ご回答：26人）

説明のわかりやすさは...？

選択肢	回答者数
わかりやすい	23
どちらとも言えない	3
わかりにくい	0

どちらとも言
えない, 3

わかりやす
い, 23

まちあるきの時間は ...？

選択肢	回答者数
短い	7
ちょうどよい	18
長い	1

長い, 1

短い, 7

ちょうどよい,
18

本日のご感想は...？

選択肢	回答者数
楽しかった	21
どちらとも言えない	5
つまらなかった	0

どちらとも言
えない, 5

楽しかった,
21

- 今回ワークショップで、柳島周辺を時間をかけて回った事により、普段歩いていたりして気づいていなかった消火器の数や消火栓、ミラーの数、危ない所がよく分かり、とてもおもしろかった。また、私自身の考えとしては、もっと消火器などの色をもっと目立つようにし、道がせまい所にあまり家を建てないような工夫もしてもらいたいです。このようにゆっくり町を歩いて、少しの事も気づいて、メモを取っていくと、ものすごく良いワークショップができると思います。
- 今日は実際に町を歩いてみて自分たちが普段住んでいる町の良い点や悪い点をたくさん発見でき、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。次回はここで得たヒントをもとに未来のことを考えていきたいです。自分が避難するときにも今回のまちあるきでの経験を生かせればと思います。
- 普段、歩いていて、気づかないことが、まちあるきという目的を持って歩いてみると沢山の気付くことができました。ほかに気付いたことは、避難する時に色々な場合を想定しなければならぬので、老人ホームや町の人々との連携により、初めて、避難ができると思いました。
- 第1回目のまちづくりで、話し合った視点から今日2回目のワークショップはまちあるきを行ないました。実際に歩いてみると色々なものが見えてきました。消火器・消火栓以外にも、仕切弁など私の知らないことやものがあり新しい発見となりました。地域には、防災ひなん連絡所などがあり、私はまだ防災についてあまり知らなかったもので、今回は良い経験となりました。
- 実際にまちあるきをして古い家も多く、新しい建物に関しては密集していることが発見できました。私が回った地域は道幅も比較的広い所もありましたが、今にも倒れそうなブロックべいも多く発見できた。他にも、地域の自治会で安否確認の方法に工夫が見られたことが良かった。
- 普段何気なく通ってしまう道でも歩いてみて改めて発見する事が多かった様に思います。消火栓の位置など意識の中に入れておく必要がある様です。各自の防災に対する意識が大切であると思いました。
- 具体的な視点を持って歩くことで、日頃気付かない地域防災の工夫や、注意しなければならない場所など、様々な事がわかるものだと思います。消火器は何を目安に設置されているのだろうかと思いました。見通しのきかない道が多いものだと改めて感じました。避難路の案内などがあるとよいのと思います。
- 実際に歩き、見て回ることで、発見と気づきがありました。中学生たちの活発な意見交換する様子に、大人との視点の違いと、素直な感じ方に驚きました。中学生のみのグループでどうかなとも思いましたが、今日の様子を見て、若い視点からの発信ができるかもと感じました。
- まちあるきの問題点を地域ぐるみで解決出来るようなワークショップにしていきたいと思います。
- ワークショップ活動は人がどの様に感じるか、色々な考え方、見方があり新しい発見もできたと思う。この活動については各自治会でグループ分けを行ない年1回行うことにより、最終的には各個レベルでの見廻りになればと考えます。